



神石高原町第2期総合戦略

人と自然が輝く高原のまち

～安心幸せプラン2024～

概要版



令和2(2020)年3月

神石高原町

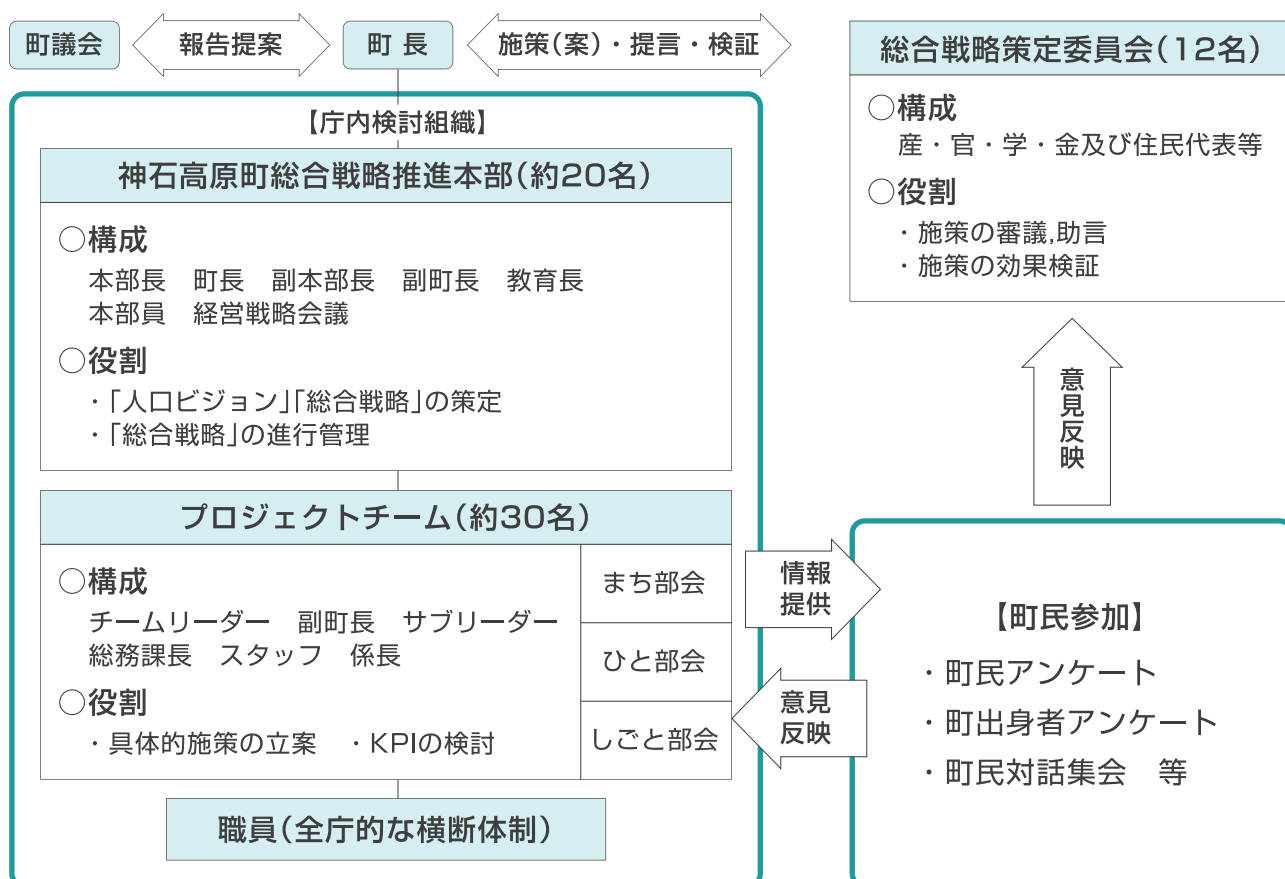
JINSEKIKOGEN TOWN

神石高原町第2期総合戦略策定の趣旨

本町では、平成27(2015)年10月に「挑戦のまち 神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、計画的に施策の展開を図ってきました。令和元(2019)年度は、この第1期総合戦略の最終年度にあたることから、国の動向に合わせ、これまでの地方創生の取り組みの成果や課題を調査・分析し、第1期の総仕上げに取り組むとともに、令和2(2020)年度を初年度とする「神石高原町第2期総合戦略」を策定するものです。

計画の期間 第2期総合戦略の計画期間は、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5か年とします。

策定体制



第2期における新たな視点

- ✓ 地方へのひと・資金の流れを強化する
- ✓ 新しい時代の流れを力にする
- ✓ 人材を育て活かす
- ✓ 民間と協働する
- ✓ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ✓ 地域経営の視点で取り組む



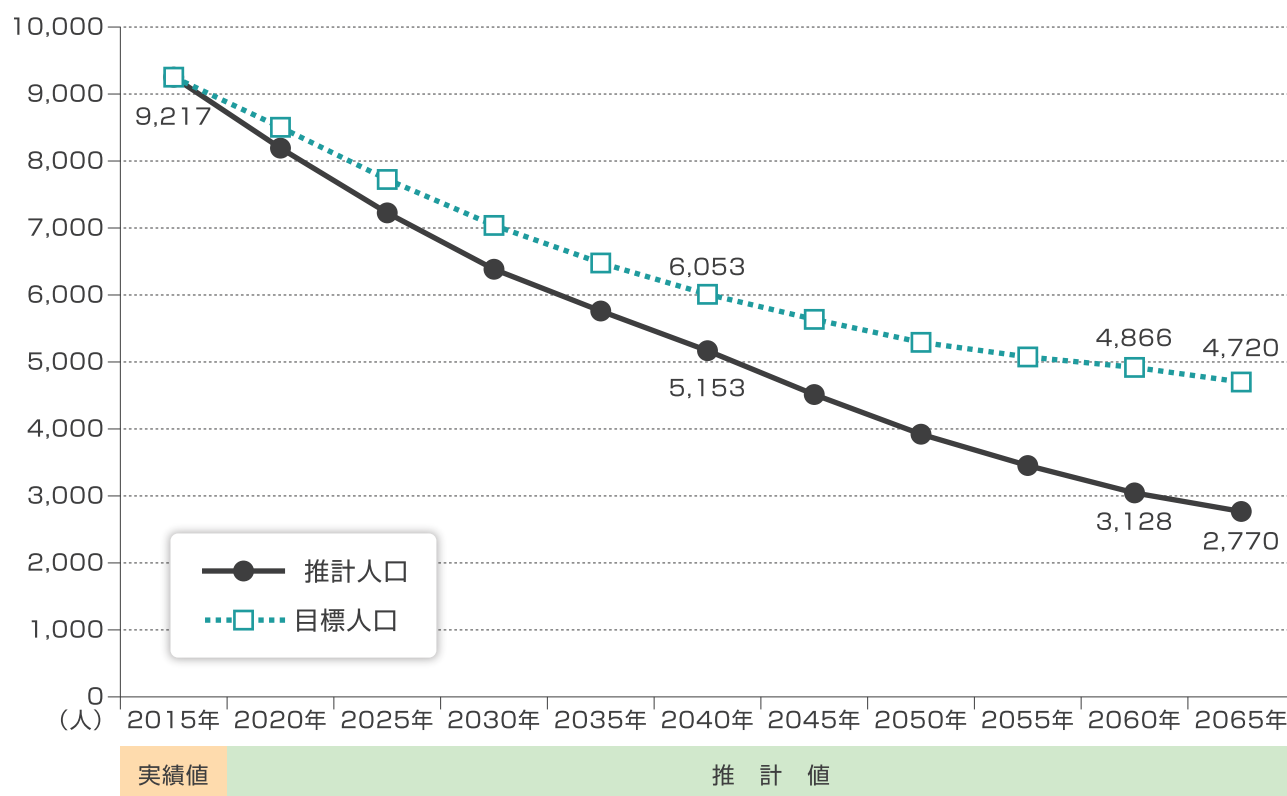
第2期で重点的に取り組むことと人口の将来展望

人口ビジョン、町民アンケート調査等からみた第2期総合戦略に向けての今後の重点課題として、以下のことが考えられます。

- ① 子育てしやすいまちづくりの推進
- ② 若い世代が働きたくなる職場や環境の確保
- ③ 本町の魅力を伝える交流人口の拡大
- ④ 快適な日常生活が送れるまちづくりの推進



重点課題に取り組むにあたっての
令和42(2060)年の将来人口を4,800人と設定しました。



	実績値	推 計 値									
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
推計人口	9,217	8,234	7,307	6,506	5,809	5,153	4,533	3,985	3,520	3,128	2,770
目標人口		8,407	7,667	7,055	6,538	6,053	5,650	5,315	5,055	4,866	4,720

資料：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供(令和元(2019)年6月版)

施策の体系

めざすべき将来の方向

町の将来像

人と自然が輝く
高原のまち



総合戦略のテーマ

安心幸せプラン
2024



将来の方向

これからも「ふるさとを誇りに思う人が集まり、自然と暮らしが共存するまち」を掲げ、本町が「暮らしやすい」と思ってもらえるまちづくりに取り組みます。



基本目標

1

子育てしやすいまちづくりの
推進と将来を担う人材づくり
【ひとの創生】

数値目標

合計特殊出生率2.1

2

若い世代が働きたくなる
職場や環境の確保
【しごとの創出】

数値目標

経済センサスにおける
女性の従業者数
1,350人

3

本町の魅力を伝える
交流人口の拡大
【ひとの創生・まちの創生】

数値目標

人口社会増減数 均衡

4

快適な日常生活が送れる
まちづくりの推進
【まちの創生】

数値目標

協働支援センター
延べ利用人数
49,000人

施策の方向

- ① 出産・子育ての支援
- ② 保育・教育の支援
- ③ 子どもの医療体制の充実
- ④ 子育てと就業の両立する就業環境づくり
- ⑤ 地域における子育て支援
- ⑥ 教育体制の充実
- ⑦ 油木高等学校を核とした人材育成
- ⑧ 地域を担う若年世代の育成

- ① 農業の振興
- ② 特産品の開発及び販路拡大
- ③ 森林資源の活用
- ④ 町内循環による産業の振興と雇用の促進
- ⑤ 観光・交流の促進
- ⑥ 企業誘致

- ① 移住情報の発信
- ② 移住の促進、支援
- ③ 移住・定住のための居住支援

- ① 生活圏の拠点づくり
- ② 情報基盤の構築、活用
- ③ 町民が安心して生活できるまちづくり

基本目標 1 子育てしやすいまちづくりの推進と将来を担う人材づくり【ひとの創生】

出産・子育ての支援

- ☑ 子育て支援部署の統合も含めた子育て支援の充実
- ☑ 拠点となる場所の整備
- ☑ 不妊治療等の費用助成

保育・教育の支援

- ☑ 保育の無償化

子どもの医療体制の充実

- ☑ 子どもの医療費の助成

子育てと就業の両立する就業環境づくり

- ☑ 病後児保育の実施

地域における子育て支援

- ☑ 地域での子どもの居場所の整備
- ☑ 里親制度の周知

教育体制の充実

- ☑ 英語教育の切れ目のない教育体制

油木高等学校を核とした人材育成

- ☑ 地域を支えることができる人材育成に向けて、高等教育までの段階で地域を知り、親しむ機会の創出

地域を担う若年世代の育成

- ☑ 地域学教育を通じた郷土愛の培いと、地域や社会に貢献できる人材の育成
- ☑ 町内への定住を前提とした奨学金事業の実施

	重要業績評価指標(KPI)	現状値(2019年度)	目標値(2024年度)
出産・子育ての支援	「親と子の居場所」利用者数	1,813人	1,813人(現状維持)
	出生数	30人/年(2018年度)	30人/年
保育・教育の支援	第2子以降実質無償化補助対象者(0歳から2歳)	27人(2019年9月末時点)	27人(現状維持)
子どもの医療体制の充実	青少年人口(0歳～18歳未満)割合	10.5%	10.5%(現状維持)
子育てと就業の両立する就業環境づくり	病後児保育施設数	(一)	1箇所
地域における子育て支援	子どもの居場所数	9箇所	9箇所(現状維持)
	里親制度研修会開催数	(一)	1回/年
教育体制の充実	中学生英語検定試験受験者数	84人(生徒数の50%)(2018年度)	生徒数の60%
	中学生海外研修応募者数(町実施分)	12人(生徒数の7%)	生徒数の8%
油木高等学校を核とした人材育成	町内中学校からの入学率	52%	70%
	油木高校への入学率	66%	100%
地域を担う若年世代の育成	奨学金対象者に占める申請者率	(一)	10%

基本目標2 若い世代が働きたくなる職場や環境の確保【しごとの創出】

農業の振興

- ✓ 経営力の高い担い手の育成
- ✓ 集落等での話し合いに基づく
地域の核となる担い手への農地集積の促進
- ✓ 新たな土地利用計画の策定や
農業振興計画の策定

特産品の開発及び販路拡大

- ✓ 付加価値の高い神石高原町産農産品の流通拡大
- ✓ 農家の生産意欲の向上
- ✓ 平日の産地直販施設等の売り上げ増

森林資源の活用

- ✓ 山林のもつ公益性機能の維持及び意欲と
能力のある林業経営体数の拡大

町内循環による産業の振興と雇用の促進

- ✓ 地域通貨発行や地産地消の推進による
地元消費の拡大
- ✓ 住宅建設促進事業を通じた、地域経済の活性化

観光・交流の促進

- ✓ 観光と高齢者、農業、健康を合わせた観光地づくり
- ✓ 英語教育を活かした外国人誘致等

企業誘致

- ✓ 最先端技術を活用した企業
- ✓ 新たな障害者施設等の誘致
- ✓ 企業に対する「地方創生応援税制」
(企業版ふるさと納税)のPR

	重要業績評価指標(KPI)	現状値(2019年度)	目標値(2024年度)
農業の振興	農産物出荷額、農地集積面積	23.6億円／年, 585ha	25.0億円／年, 600ha
	赤と黒のプロジェクト担い手数	149人	177人
特産品の開発及び販路拡大	備後圏域支援事業との連携数	8件／年(2018年)	10件／年
森林資源の活用	意欲と能力のある林業経営体数	1経営体	3経営体
町内循環による産業の 振興と雇用の促進	地域通貨発行金額	2000万円	2500万円
	外国人登録数	97人	120人
観光・交流の促進	宿泊業従業者数	88人(2016実績)	88人(現状維持)
企業誘致	事業所数	530社(2016実績)	535社



目標ごとの重点施策

基本目標3 本町の魅力を伝える交流人口の拡大【ひとの創生・まちの創生】

移住情報の発信

- ☑ 本町とつながる人や企業の増大等移住の裾野拡大に向けた関係人口の創出拡大
- ☑ 移住促進のための子育て支援策, 居住, 仕事等移住情報の一体的発信

移住の促進, 支援

- ☑ 地域における移住者の受入体制づくり
- ☑ 空き家改修等を行う地域住民団体等や, 空き家を改修する移住者等に対する支援
- ☑ U・Iターン希望者が求める就業・生活・住宅等の情報を総合的に提供できる体制づくり

移住・定住のための居住支援

- ☑ 町内に移住, 定住する目的で住宅を取得する者の経費の一部支援

	重要業績評価指標(KPI)	現状値(2019年度)	目標値(2024年度)
移住情報の発信	情報コンテンツ閲覧回数	6,500回	13,000回
移住の促進, 支援	空き家活用による新規定住者数	19人/年	23人/年
	移住相談件数	35件/年	42件/年
移住・定住のための居住支援	子育て世代の新規定住世帯数	16世帯/年	19世帯/年

目標ごとの重点施策

基本目標4 快適な日常生活が送れるまちづくりの推進【まちの創生】

生活圏の拠点づくり

- ☑ 協働支援センターを核とした地域交流, 地域の支え合いの拠点づくり

交通・情報基盤の構築, 活用

- ☑ 電波状況の改善・通信の遅延や制限を解消による, 人や情報の流れの円滑化

町民が安心して生活できるまちづくり

- ☑ 他団体との協力による災害支援や地域医療の充実
- ☑ 高齢者等の交通弱者の生活交通対策
- ☑ 地域医療や災害対応力の強化
- ☑ 地域のエネルギー資源を活用した取り組み

	重要業績評価指標(KPI)	現状値(2019年度)	目標値(2024年度)
生活圏の拠点づくり	協働支援センター延利用人数(再掲)	46,000人/年	49,000人/年
交通・情報基盤の構築, 活用	CATV20メガプラン加入率	52%	70%
町民が安心して生活できるまちづくり	ヘリポート整備地区数	1箇所	2箇所

神石高原町第2期総合戦略

人と自然が輝く高原のまち

～安心幸せプラン2024～

概 要 版



神石高原町 政策企画課

〒720-1522

広島県神石郡神石高原町小畠2025番地

TEL : 0847-89-3351 FAX : 0847-85-3394